

# 活動紹介

## T y a m o屋

【設立】平成17年におもちゃ団地OBのブリキ玩具経験者数名で発足したグループです。

【目的】①ブリキのおもちゃを保存して文化を残す。

②修理を通じて物の大切さを子供達に伝える。

【活動状況】壬生町おもちゃ博物館を拠点に、壊れたおもちゃの修理と地域で開催されるイベントに「おもちゃ遊び&ゲーム遊び」などの支援を行なっています。

【壊れたオモチャの主な修理先】

- ・おもちゃ博物館・とちぎおもちゃ図書館・子育て支援センター
- ・作新こころの相談クリニック

【主な地域イベントおもちゃ遊び等の支援活動先】

- ・おもちゃ博物館・壬生町産業祭・とちぎわんぱく公園おもちゃまつり
- ・栃木市文化祭移動おもちゃ図書館・行方市霞ヶ浦ふれあいフェスティバル



修理作業中の会員達



イベント会場「おもちゃ遊び&ゲーム遊び」

## 活動報告

### 城内自治会「第20回歩け歩け大会」史跡めぐり

5月24日(日)、城内自治会(荒川克己会長)では、健康の増進と自治会員の親睦を深めることを目的に歩け歩け大会を開催しました。

自治会内には城址公園があり壬生城に関連した多くの史跡が残っています。しかし、若い人や城内に移り住んだ人は史跡の存在すらわからなくなっています。今回、初めて地元の歴史や文化を理解してもらうため史跡巡りを計画、併せて消火栓や防火水槽の位置を確認するなどさらに防災意識を高める狙いも込めました。

この日は天候にも恵まれ、自治会員約80人が参加。3.5kmのコースを2時間かけて歩きました。自治会副会長で町文化協会副会長である藍田収さんがガイドを務め、参加者は真剣な表情で耳を傾け心地よい汗を流しました。

地元に長く住んでいる人も「こんなところに史跡があるとは思わなかった」と新たな発見に感心していました。荒川会長は「地域の人たちに喜んでもらえて、こんな嬉しいことはない。来年も続けたい」と話していました。



# 活動報告

## NPO法人 生涯発達研究所

5月10日(日)壬生中央公民館中ホールにおいて、「設立記念シンポジウム」が開催されました。若林理事長より法人設立の説明の後、来賓の小菅町長、鈴木副議長からあいさつがありました。あいさつに続き、筑波大学名誉教授の宗像恒次氏より「ありのままを生きよう一生涯成長へ」と題し基調講演があり、続いて長野保健医療大学教授の福田美恵子氏より「コミュニケーションの苦手な子どもとの接し方」と題し、特別講演がありました。

最後に、「ありのままに生きるために」と題し、栃木市役所保健福祉部高齢福祉課長の首長正博氏の司会により、会場の皆様とのトークセッションが行われました。

講師の方々の丁寧な説明と司会者のユーモアを交えた誘導により活発な質疑応答があり、有意義な講演会となりました。講演終了後もお二人の周りには名刺交換やら時間の都合で質問できなかつた方が取り囲み、盛況のうちに講演会が終了しました。



## 黄色いハンカチパーティー

我々ファーストクラブは、年2回、お見合いパーティーを開催しています。料理、会場の装飾などは、すべてスタッフの手作り(ボランティア)で行なっています。

6月7日(日)に、今年一回目の黄色いハンカチパーティーを壬生町嘉陽が丘ふれあい広場(恋人たちの聖地・・にしたい場所!)にて開催しました。

協力いただいた近くの畑でとちおとめを皆さんで味わった後、体育館にてパーティーを開催し、見事11組のカップルが成立しました。残念ながらカップルになれなかつた方々を含め、みなさんのお幸せを今後とも応援してやみません。

また、今年のクリスマス前にパーティーを開催する予定ですので、出会いを求めている方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。スタッフ一同、一生懸命お手伝いさせていただきます。(ファーストクラブ一同)

